

郡山城跡が国指定史跡に！

令和 4 年 (2022) 11 月 10 日付で、郡山城跡は正式に国の史跡に指定されました。今後は、大和郡山市が主体となり、保存活用計画の策定を経て、国史跡としての整備事業が進められます。



郡山城跡の空中写真（大和郡山市提供）

郡山城跡が国史跡に指定されたことを受け、記念の御城印を作成し、柳沢文庫受付にて販売しています。記念御城印は 2 種類で、いずれも 1000 部限定となります。

黄色和紙に金箔で郡山城と押している御城印（左）は特別限定版として 500 円で販売、またクリーム色和紙に金色の花菱紋を印刷した限定版御城印（右）は 300 円で販売いたします。各御城印はなくなり次第販売を終了し、その後は通常の御城印（300 円）の販売となります。御城印の文字は、柳澤家郡山藩初代藩主柳澤吉里の公用記録『福寿堂年録』（奈良県指定有形文化財）から取ったものを組み合わせています。



特別限定版



限定版

令和4年度（2022年度）後期企画展のご案内

「吉里研究序説① 少年期の柳澤吉里」

会期：令和5年1月28日（土）～5月7日（日）

休館日：月曜・第4火曜日（祝日の場合は開館。）

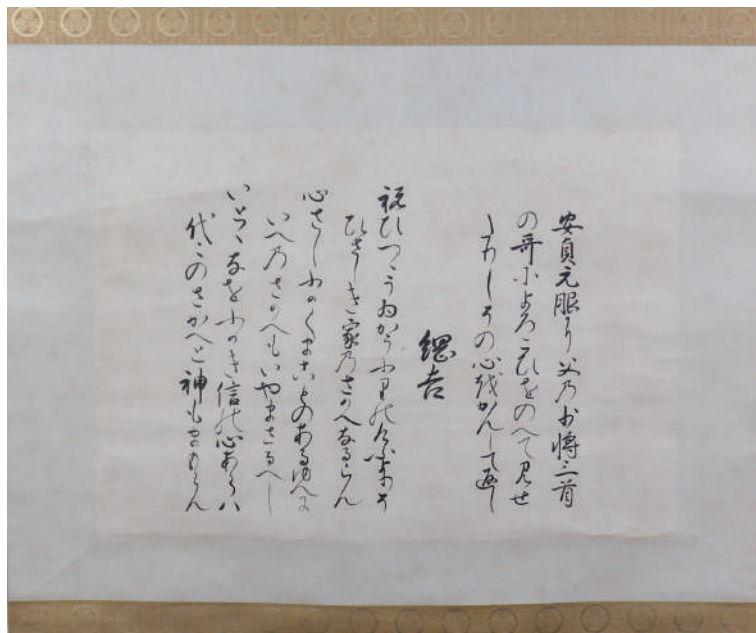
■大和郡山盆梅展（2/4（土）～3/12（日）・大和郡山お城まつり（3/24（金）～4/7（金））期間中は開館。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、状況に応じて休館する場合があります。
詳細は柳沢文庫ホームページ（<http://www.mahoroba.ne.jp/~yngbunko>）のお知らせを見ていただくか、
お電話（0743-58-2171）でお問い合わせ下さい。

今からさかのぼることおよそ300年前の享保9年（1724）、8代將軍徳川吉宗の命によって、甲斐（今の山梨県）からの転封を命じられ、郡山城主となったのが柳澤吉里（1687-1745）です。吉里は家臣たちと協力し、幕末まで続く郡山藩政の基礎を築きました。しかし、吉里を巡っては、5代將軍徳川綱吉の「ご落胤」説や金魚に関する俗説ばかりが誇張されて語られる傾向にあり、残念ながら実際の人物像が知られる機会はほとんどありませんでした。

柳沢文庫では、令和6年（2024）の吉里郡山入城300周年を前に、吉里に関する基礎研究や資料収集を進めています。今回の展示では、「吉里研究序説①」と題し、誕生から22歳までの期間（貞享4年～宝永5年〈1687～1708〉、翌年23歳で家督相続）を対象とし、吉里の少年時代を中心にご紹介します。

吉里は、貞享4年（1687）9月3日に江戸の柳澤邸で誕生しました。父の吉保は当時30歳。それまで將軍の側用人として江戸城での勤務に忙しく、なかなか子に恵まれなかっただけに待望の男子でした。柳澤家嫡流の名乗りになみ、祖父の安忠から「兵部」と名付けられました。



綱吉が吉里の元服祝いに寄せた3首の和歌（柳沢文庫蔵）

実母の染子は、柳澤家が知行していた上総国市ノ袋村（今の千葉県東金市一之袋）の隣の幸田村出身で、柳澤家に奉公していました。教養豊かで愛情深い女性だったらしく、「故紙録」（参禅の記録）のほか、和歌も多数残しています。また、吉里の産着や元服時に剃った前髪、へその緒なども大切に残っていたようです（展示では、吉保との贈答歌を紹介）。

そして、少年期の吉里を語る上では、將軍徳

川綱吉から受けた厚い恩義を欠かすことはできません。吉里は5歳で初めてお目見えを遂げた



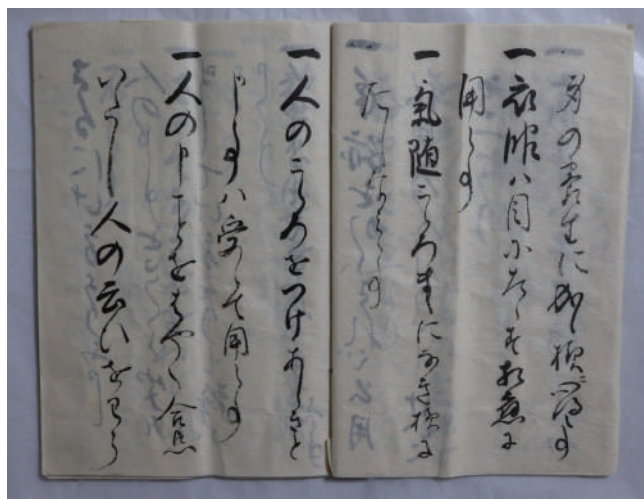
網吉から拝領した熨斗目
(個人蔵 ※資料保存のため展示はなし)

涯忘れず、網吉をお願いして書いてもらった「福寿」の字にちなみ、自身の日記タイトルを『福寿堂年録』としました。

また、絵や和歌の修練にも励みました。柳沢文庫には、幼少期に描いた牡丹などの絵が残ります。吉里が愛用した「古今和歌集」には書き込みも多く、熱心に読み込んだ跡が見られます。和歌は父母や北村季吟から手ほどきを受けました。



絵の修練のために描いた牡丹画
(柳沢文庫蔵)



吉保から与えられた庭訓 (大和郡山市所蔵豊田家文書)

のち、幼少期から江戸城に登城して、網吉の「学問の御弟子」として講釈を受けるようになります。能の競演も多く、能装束・道具類をたくさん与えられています。さらに、剣術の手ほどきも受けました。網吉は子の徳松を早くに失っていたので、その分、信頼する側近吉保の子吉里を実の息子のようにかわいがったようです。15歳の元服時にも、祝いの和歌を寄せました。吉里もこの厚恩を生

このように豊かな少年時代を送った吉里ですが、若い頃は少しわがまま、せっかち、他人や家来にきつくあたりがちといった面があったようです。こうした性格を心配した父の吉保は、「気随心まま」にはいけない、人の話は「早合点」せず最後まで静かに聞きなさい、武芸や碁・将棋で「勝負に急」くのはやめなさい、人の言うことをすぐに「とがめ」るのはいけない、などと書いて吉里に注意しています。

★お知らせ★

※新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から、開催を延期または中止とすることがあります。詳細はホームページのお知らせを見ていただくか、お電話でお問い合わせ下さい。

後期企画展 関連講演 柳沢文庫歴史塾（郡山学）

時間 14:00～15:30 会場 DMGMORI やまと郡山城ホール 定員 90名
参加費 200円（柳沢文庫友の会会員の方は無料）

◆第4回1月28日（土）

『楽只堂年録』を読む② 柳澤吉保の活躍 ※申込締切1月17日

講師 越坂 裕太（柳沢文庫学芸員）

◆第5回2月18日（土）

『出土瓦から読み解く郡山の歴史 -郡山城と周辺の古代寺院-』 ※申込締切2月8日

講師 清水 昭博氏（帝塚山大学教授）

※事前申込制。詳細は柳沢文庫ホームページをご覧ください。



柳沢文庫
1982.10.13

柳沢文庫販売物ご案内

※（）は友の会会員価格です。表記のないものは割引はありません。



『郡山城絵図集
—江戸時代の郡山城を読みとく—』
2,500円（2,250円）

『柳沢文庫収蔵品図録』2,000円（1,800円）

秋季特別展「筒井順慶」図録 1,000円（900円）

『柳澤吉保没後三〇〇年記念 柳澤家伝来の名品』展 図録
500円（450円）

『柳沢文庫収蔵品目録 軍令』1,500円

『柳沢文庫収蔵品目録 軸棚』1,800円

『柳澤藩家老「藪田家文書」の目録と解題』3,500円

『柳澤吉保の一面』400円（320円）

柳沢史料集成

第5巻 4,000円（3,200円）

第6巻～第7巻 5,000円（4,000円）

第8巻～第10巻 7,000円（5,600円）

『大和郡山城天守台石垣岩石種調査報告書』700円（560円）

『大和郡山藩主松平（柳澤）甲斐守保光
—茶の湯と和歌を愛した文人大名 堯山』700円（560円）

『史料募集 楽只堂年録』

第1巻～第3巻 13,000円（10,400円）

第4巻～第8巻 14,000円（11,200円）

第9巻 15,000円（12,000円）

『江戸に生きて—正親町町子の半生—』1,000円

絵図セット（和州郡山藩家中図・享保家中図・大和郡山城）
500円（400円）

ポスター 郡山城絵図の世界 第二版 500円（400円）

御殿だるまシール 100円

クリアファイル

・和州郡山藩家中図／柳澤信鴻筆 牡丹錦鶏図／徳川綱吉筆 過則
勿憚改 各350円

・和州郡山藩家中図・牡丹錦鶏図・過則勿憚改 3枚セット 1,000円

・郡山城極楽橋モノクロ 200円／カラー 350円

・山下繁雄筆 郡山城址初秋 350円

絵はがき「城跡景観」8枚セット 500円（400円）

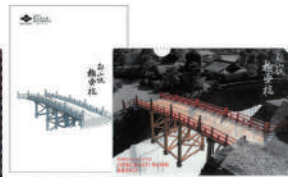
郡山城来訪記念証〈御城印〉 300円 ※文庫受付のみにて販売



【御城印】



和州郡山藩家中図・牡丹錦鶏図・過則勿憚改
【クリアファイル】



郡山城極楽橋（モノクロ・カラー）



郡山城址初秋

* 柳沢文庫では、友の会会員を募集しています。年会費一般1,500円／学生750円

公益財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会 〒639-1011 奈良県大和郡山市城内町2-18 Tel 0743-58-2171
http://www.mahoroba.ne.jp/~yngbunko https://www.facebook.com/yanagisawabunko